

# 八王子市立別所小学校「平成20年度授業改善推進プラン」

## 【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力  
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性  
 「仲間とともに」 協調性・社会性  
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性の育成に向けた教育を推進する。

## 【教育目標】

別所小の私たちは、本気で勉強しながら仲間と共に自分をのびます 「知」自分から進んで学ぶ子ども  
 心をみがきます 「徳」思いやりのある子ども、感動する子ども  
 元気にすごします 「体」からだをきたえる子ども

## 1 地域の実態

- ・多摩ニュータウンの一角が校区である。
- ・現在も、集合住宅や大型店舗等が増え、開発が進行している。

## 2 地域・保護者の期待や願い

- ・安心して通える学校
- ・豊かな心と学力の向上を願う。

## 3 期待される児童像

- ・基礎学力を身に付け、人とのかわりを大切に、社会に貢献しようとする児童

## 《本校の現状》（「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること）

1.平成19年度・4年生の学力テストにおいて、国語では平均達成度と達成率ともに平均を下回っている。特に平均達成度については基礎において下回っている点が目立つ。「話す力・聞く力」や「書く力」「読む力」は平均程度だが、「言語についての知識・理解・技能」については平均を下回っている。また、算数の平均達成度については応用と基礎の大きな差はないが、国語と反対で、応用について平均を下回っている。項目別にみていくと、数学的な考え方が、数量や図形についての表現処理能力や知識・理解を若干上回っている。

一方、意識調査では、学びの基礎力（特に自己成長力・豊かな心・問題解決力）・社会的実践力（特に自ら学ぶ力・豊かな基礎体験）ともに市平均より若干上回っている。逆に社会参画力と学びを律する力が特に市平均を下回っており、メディアから社会問題について考えたり、社会の中で実践したりする体験が少ない状況にあるといえる。さらに普段から粘り強く学習に取り組む姿勢が十分に身に付いていないと考察される。家庭と連携しながら、地道に自分で学習を進める習慣と方法を身につけさせ、生活経験をさらに豊かにする中で、社会的実践力を高めていく必要がある。

2.平成19年度・5年生の学力テストにおいて、「見通す力」「意思決定する力」が市平均をやや上回った。逆に「表現する力」「適応・応用する力」「問題を発見する力」については、若干下回っている。詳しくみると、都道府県の位置など暗記する力をみる問題や、応用問題でも図や表を読み取って課題に対応する問題はよくできていたが、文章を読み取って情報を収集し、説明したり課題を解決したりする問題で誤答が目立った。長文をじっくり読み、落ち着いて課題をとらえ、判断する力を育てる必要がある。その上で伝えるべき事柄を文章に書いたり、音声言語にしたりする力を育てていく必要がある。

3.素直で意欲的な児童が多いが、一方相手の気持ちを思いやったり、相手の思いをくみ取るというコミュニケーションの問題が課題としてある。また、自分の気持ちや思いを言葉で表現することが苦手で、上手に相手に伝えられない傾向にある。そこで、本校では国語の授業を通してこれらの課題に対応すべく研究を行っている。

（学校の特色としてさらに伸ばしたいこと）

基礎基本を大切にすると共に、社会生活の中から解決の必要性のある課題を見つけ、じっくりと考えたり、調べたりすることを通じて、課題を解決し、家庭・社会の生活の中で実践していこうとする児童の育成を図る。

基礎的学力向上・文章を読む力の向上のため、読書の習慣を身につけさせ、生涯にわたって通じる学ぶ力の向上を目指す。児童の実態に応じ、指導内容を精選して、効果的な指導を図り、指導方法の工夫をすすると共に、校内研修の充実を図る。

## 《本年度本校における学力向上のための重点方針》

・個人差が広がる傾向にある。中核になる学級経営の充実と安定を得ることで、一人ひとりの児童の個性や能力に応じた評価と指導方法の改善を図る。

・授業時数を確保し、教育課程の実質的の充実を図る。

・教科、領域間の横断的な連携を図り、より充実した学習指導が可能になるようにする。

・学校教育と家庭教育が密なる連携を図り、基本的な生活習慣をしっかりと身につけさせ、よりよい集団作りに努めると共に、地域での生活体験を豊富にし、学習を生かせる場・実践の場をつくり、充足感を持って学習を終了できるようにする。

・校内研究において、国語の授業を中心に自分の思いや考えを発表し、それを互いに分かち合える授業作りを行う。

## 《本年度の学力向上の具体策》（いつまでに、どの程度）

（平成20年度中に実施する具体的な取り組み）

- ・年間を通して朝読書の定着を図る。保護者の協力による「読み聞かせ」も推進する。
- ・習熟度に応じた指導の推進を行う。（特に算数科）
- ・校内研究（国語）において意図を読みとり、自分の言葉で表現する授業を積み重ねていく。
- ・校内研修の充実で、指導力の向上を図る。2学期中に、提案授業を4回以上実施する。
- ・外部からの学習支援者や協力者を得て、より充実した教育を目指す。
- ・教育懇談会を開催し、より多くの保護者と学校が連携を深める。（道徳地区公開講座等）
- ・12月末に外部評価を実施し、保護者と学校評議員の意向を踏まえた教育を進める。

（平成21年度教育課程編成に向けて参考にする）

- ・児童が安心して生活できる場としての、学年・学級の経営に努める。
- ・一人ひとりの実態を踏まえ、基礎的な学力の向上に努める。
- ・基本的な生活習慣の定着を図るため、学校と家庭が密なる連携を図る。
- ・開かれた学校を目指し、地域社会に学び、地域の教育力の支援を得る。
- ・安全な学校を目指し、保護者、地域、青少対、その他関係機関との連携を図る。

## 《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

（短期）

日常の授業において、各学年（学級）ごとに児童の実態を把握した上で、PDCAサイクルの中で検証を行う。週案によるプラン作りをし、授業実施中は授業観察やミニテストにより学習の定着度を検証する。事後、個に応じた指導に生かす。

（中期）

これらのサイクルを繰り返し、各教科ごとに単元の学習終了後にはワークテスト等を活用して、児童の単元ごとの学力定着度を評価する。

（長期）

次年度の「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果と本年度の結果と比較して変容を見取り、授業改善に生かす材料にする。

保護者、地域の方からの外部評価を参考にし、学力向上に向けた具体的な取り組みの成果と課題を検討する。

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の聞き方が不十分。</li> <li>・読み書きの基本が身に付いていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせを多く行う。</li> <li>・集中して話を聞けるように、内容や指示の仕方を工夫する。</li> <li>・音読やスピーチの機会を多くもつ。</li> <li>・「書くこと」を中心に、基礎基本の徹底を図る。</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌うことに興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで楽しく歌える題材を選び、歌い方の指導を工夫する。</li> <li>・いろいろな楽器を経験させ、楽しく活動させる。</li> </ul>
社会			図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の使い方に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な教材を準備し、道具の使い方が定着するような活動を行う。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着が不十分。</li> <li>・個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を取り入れながら楽しく学べるよう教材の工夫する。</li> <li>・特に支援の必要とする子へ個別指導を多く取る。</li> </ul>	家庭		
理科			体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力、運動能力の個人差が大きい。</li> <li>・集団行動やルールが守れないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成感を味わわせるために、めあてをもって取り組めるように工夫する。</li> <li>・ルールや決まりを守って楽しく活動できるように指導を工夫する。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活体験が少なく、友達関係も限られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を多く取り入れ、自然とのふれあいを通して季節の変化に気づかせる。</li> <li>・年間を通して2年生との交流をもち、生活を向上させていく意欲を持たせる。</li> </ul>	総合的な学習の時間		
<p>その他（道徳・特別活動等）</p> <p>&lt;道徳&gt; 基本的なルールを身につけ、集団生活が送れるようにする。友達のよいところを見つけ、互いに向上しようとする気持ちを育てる。</p> <p>&lt;特活等&gt; 協力して仕事をするを身につけさせる。係活動や学年・学級の行事、また学校行事に積極的に参加し、別所小の一員であることを自覚させる。</p>					

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く・話すの基本を身につけさせる。</li> <li>・文章の大体を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なスピーチや話し合いを通して、聞く・話すの基本を伝え、くり返し指導する。</li> <li>・文章を読み、話し合いを通して、豊かな想像力を養う。</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで歌うことが楽しいと思えるような体験が少ない。</li> <li>・リズムをつかむことが苦手な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなと歌うよさ、みんなで音楽を作る楽しさなどを感じられる題材選びをする。</li> <li>・遊びを通して、リズム感を身につけさせる。</li> </ul>
社会			図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみや絵の具など、道具の扱い方にまだ慣れていない児童がいる。</li> <li>・意欲的に楽しんで取り組む児童が多い。</li> </ul>	基本的な道具の使い方が定着するように、毎時間、一人ひとりをよく見る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの作品を鑑賞し、いろいろな表現方法を知り、意欲をさらに高める。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な計算(くり上がりのあるたし算、くり下がりのあるひき算)の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物や半具体物を積極的に活用する。</li> <li>・個に応じた指導を心がける。</li> </ul>	家庭		
理科			体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄棒、跳び箱など、器械運動に個人差が大きく見られる。</li> <li>・自己中心的にゲームを進めようとし、集団のルールやゲームのルールが守れないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄棒やマット、跳び箱、なわとびなどでは、一人ひとりめあてをもって取り組めるよう、カードを活用し、意欲を促す。</li> <li>・集団で活動するよさを味わうことができるようなゲームを多く取り入れる。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自然や、地域の人々と多くかかわらせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と自然とのつながりを深め、季節感のある活動を行う。</li> <li>・町たんけんを通して、地域の人や自然とふれあう活動を行う。</li> </ul>	総合的な学習の時間		
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>&lt;道徳&gt; 学校生活上の基本的なルールを身につけ、集団で学校生活を送ることに慣れさせる。友達のよいところを見つけ、互いに向上しようとする気持ちを育てる。</p> <p>&lt;特活等&gt; 保健、給食、清掃活動を通して、協力して仕事をするを身につけさせる。係活動や学年・学級の行事、また学校行事に積極的に参加し、全体の一員である自覚を養う。</p>					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み書きの基礎基本の力を定着させる工夫が必要である。時間を確保して一人ひとりの定着を図りたい。</li> <li>・読み聞かせや読書を通して学ぶ力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、文章を書く機会を設定し段階的に書くことに慣れ親しめるようにする。</li> <li>・音読や漢字テストなどを継続して行い、一人ひとりの個性に応じて目標を設定していく。</li> <li>・読み聞かせを行い読書への興味を高める。</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌、器楽とも進んで音楽にかかわり、表情豊かである。</li> <li>・さらに、音楽活動への意欲を高め、様々な音楽に親しむようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの学習が意欲的にできるように、めあてをたせ、取り組ませる。</li> <li>・発達段階にあった教材の選択に心がけ、音楽のよさや、美しさを味わわせる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて社会科に取り組むので、学習の仕方を学ぶことが課題となる。</li> <li>・自分で課題を考えて解決する意欲を育てていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生は地域の学習なので、なるべく地域の様子を実際に体験する学習を行い、理解の充実を図る。</li> <li>・課題解決の学習の仕方に慣れさせていく。</li> <li>・課題発見から自分たちなりに考えをまとめるまでの手順を多く経験できるようにする。</li> </ul>	図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に課題に取り組むことができる。</li> <li>・図工室の教材、教具の充実や整備が徹底されていない。</li> <li>・安全に道具を取り扱うなど、使い方に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな教材を準備し、より意欲的に取り組むことができるようにする。</li> <li>・教材教具の整備の徹底と充実及び児童への周知。</li> <li>・児童の実態に応じた題材の工夫と安全指導の徹底。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の力に個人差が見られる。全ての児童にその力の定着を図りたい。</li> <li>・自分で考えて、解決しようとする力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導を行うことによって、一人ひとりにあった学習ができる。</li> <li>・内容の系統性、教材教具の工夫、継続的な取り組みによって定着を促していく。</li> <li>・単元によって編成を変え、効果を高めていく。</li> <li>・問題の内容を的確に理解するために段階的なアプローチができるようにする。</li> </ul>	家庭		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科に初めて取り組むので科学的に考えることが課題になる。</li> <li>・地域の自然や環境を取り入れ、体験的に学習を進めて、意欲を育てていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察をより多く取り入れて、自ら進んで取り組む授業を大切にして、興味関心を高めていく。</li> <li>・地域の特性を活用して、生き物や植物を育てていく。</li> </ul>	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外で遊ぶ機会が限定的になっているので、体の動かし方に偏りがあることが多い。</li> <li>・運動量の多い展開を授業に取り入れることが課題となる。</li> <li>・ゲーム性の高い運動を好む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの活動にも意欲的に取り組めるように系統性や展開などを工夫し、ゲーム的要素も取り入れる。</li> <li>・自分のめあてに向かって取り組めるようにする。</li> </ul>
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの課題を見つけ、解決するために、基本的な学習の取り組みを身につける。</li> <li>・教科領域間の横断的な連携をはかり、充実した学習の素地を育てていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様子や環境をいかして、子どもの興味関心に基づいた授業を計画していく。</li> <li>・3年生では特に学習の基本を充実させるような取り組みを増やしていく。</li> </ul>
<p>その他（道徳・特別活動等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の生活の中で、道徳的実践力がさらに培われるようにしたい。そのため、全教育活動を通して、人権や生命尊重に関連した場面を多く設定し、児童一人ひとりが考え行動できるようにした。</li> <li>・学校行事、異学年交流、学年・学級の活動を通して、児童が自ら意欲を持って取り組める活動を充実させていく。</li> </ul>					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み書きの基礎基本の力に個人差が出てきている。そのため時間を確保して一人ひとりの定着を図りたい。</li> <li>・読み聞かせや読書を通して学ぶ力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、日記や作文等の文を書き続ける。</li> <li>・音読や漢字テストなどを継続して行い、一人ひとりの個性に応じて目標を設定していく。</li> <li>・保護者に協力していただき、読み聞かせを行い読書への興味を高める。</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンサンブル活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互い学びあえるように、グループ活動を取り入れ、音楽を作り上げることができるように指導する。</li> <li>・いろいろな楽器の奏法の基礎を学ばせ、楽器の音色の特徴を理解させる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験が不足のため深い考えにならないことがあるので、体験的な学習を増やして具体的に与えられることを重点とする。</li> <li>・自分で課題を考えて解決する意欲が弱いので育てていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に体験する学習を行い、理解の充実を図る。</li> <li>・課題解決の学習の仕方に慣れさせていく。</li> </ul>	図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に課題に取り組むことができる。</li> <li>・図工室の教材、教具の充実や整備が徹底されていない。</li> <li>・道具等の扱いができる児童との差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな教材を準備し、より意欲的に取り組むことができるようにする。</li> <li>・教材教具の整備の徹底と充実及び児童への周知</li> <li>・児童の実態に応じた題材の工夫と安全指導の徹底</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の力に個人差が見られるので、一人ひとりの定着を図りたい。</li> <li>・自分で考えて、解決しようとする力を育てるのが課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導を行うことによって、一人ひとりにあった学習をすることで、定着を促していく。単元によって編成を変え、効果を高めていく。</li> <li>・時間の確保に努め、計算練習を継続させる。</li> <li>・自分で考える授業の改善に努める。</li> </ul>	家庭		
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を論理的にとらえ、科学的に考えることが課題になる。</li> <li>・地域の自然や環境を取り入れ、体験的に学習を進めて、意欲を育てていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察を取り入れて、自ら進んで取り組む授業を大切にして、興味関心を高めていく。</li> <li>・地域の特性を活用して、生き物や植物と一緒に育てていく。</li> </ul>	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外で遊ぶ機会が減ってきているので、体の動かし方に偏りがあることが多い。運動量の多い学習展開を取り入れることが課題となる。</li> <li>・ゲーム性の高い運動を好む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの活動にも意欲的に取り組めるように工夫し、ゲーム的要素も取り入れた、展開の授業にする。</li> <li>・自分のめあてに向かって取り組めるようにする。</li> </ul>
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの課題を見つけ、解決するために、基本的な学習の取り組みを身につけ、意欲的に学べるようにする。</li> <li>・教科領域間の横断的な連携をはかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様子や環境をいかして、子どもの興味関心をいかした授業を計画していく。</li> <li>・特に学習の基本を充実させるような取り組みを増やしていく。</li> </ul>
<p>その他(道徳・特別活動等)・実際の生活の中で、道徳的实践力がさらに培われるようにしたい。そのため、全教育活動を通して、実践意欲を高める工夫を続けていく。</p> <p>・学校行事、異学年交流、学年・学級の活動を通して、児童が自ら意欲を持って取り組める活動を充実させていく。</p>					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読や漢字練習に意欲的に取り組むが、語句の意味の理解があいまいな面もあり、語彙力を伸ばす必要がある。</li> <li>集中して話を聞く力や自分の思いや考えを相手に伝えるように話す力を伸ばす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す・聞く場面を意図的に学習内容に取り入れ、表現力の育成を図る。</li> <li>辞書を日常的に活用し語彙力を高め、また朝学習などで読書時間を確保し、読書習慣をつけさせる。</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲、知識、技能に個人差があるが、課題に向かって取り組むことができ、音楽を作り上げる喜びを味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを持たせ、個々の技能を高めていく。</li> <li>豊かな表現活動ができるように、発達段階に応じた教材選択に心がける。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を正しく読み取る力を伸ばす必要がある。</li> <li>課題を解決するための方法がわからずとまどう児童も多い。調べていくための具体的な方法を身につけさせる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計資料等を正確に読み取る力を伸ばすため資料の読み取りの時間を十分確保する。</li> <li>学習内容と実生活とのつながりを実感できるように、体験的な学習を充実させる。</li> </ul>	図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>図工室の教材、教具の充実、整備が徹底されていない。</li> <li>授業には意欲的に参加できるが、集中力が続かない場面もある。</li> <li>道具の取扱いが雑である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材教具の整備の徹底と充実及び児童への周知</li> <li>児童の実態に応じた題材の工夫と意欲を高める題材の設定を行う。</li> <li>道具についての知識理解を徹底し、安全に使用できるように指導する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数に対する苦手意識がある児童は、数量の感覚が乏しいことが多い。また、苦手意識から、消極的になり、ますますわからなくなりがちである。一人ひとりのつまづきに対する適切な指導や励ましが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物や体験などを取り入れ、数量感覚を実感させる。</li> <li>抽象的な思考を助けるための図の活用など、自力解決のための具体的な方法を身につけさせる。</li> <li>基礎・基本を確実に身につけられるようスモールステップでの指導を行なう。また少人数学習でつまづきの早期発見と対処を行う。</li> <li>基礎的な内容の定着に個人差が見られるので、個別指導の充実を図る。</li> </ul>	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの児童が興味・関心を持ち、家庭科の授業を楽しみにしているが、学んだことを家庭生活に生かせる児童とそうでない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が興味を持ち、日常生活に生かす意欲につなげる学習内容を工夫する。</li> <li>家庭と連携を図り、学んだことを実践する力を伸ばす。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を解決するためにどのような実験や観察をどのような方法で行えばいいかにとまどう児童も多い。実験や観察における条件設定の仕方や記録の仕方、結果の読み取り方など具体的に身につけさせる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な言葉の使い方や意味、既習事項の確認などをていねいに行う。</li> <li>実験・観察が主体的なものになるよう、実験器具を十分用意するなど環境を整えとともに、筋道を立てた学習の進め方を工夫し、課題解決の具体的な方法を確実に身につけさせる。</li> </ul>	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカーやバスケットボールなどの球技が得意な児童は一部いるが、全体的に柔軟性に乏しく、マット運動や鉄棒運動が苦手な児童が多い。基本の運動や体ほぐしの運動を多く取り入れる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本の運動や体ほぐしの運動の充実とバランスよい運動の組み合わせを工夫する</li> <li>基本的な器械運動の習熟と運動への興味・関心を育てる。</li> <li>自分の体や健康に関心をもたせる指導をする。</li> </ul>
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決の際、追究の深さに個人差が大きい傾向がある。どの児童の学びも十分に深まるものにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題追求・問題解決のために必要な環境の整備を行う(人・図書資料・インターネット他)</li> <li>意見交換やポスターセッションなどで、お互いがよりよい課題の解決方法を学び合い、高め合える機会をもたせる。</li> </ul>
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の授業を要とし、行事や他教科等との関連を生かし、道徳的实践力を養う工夫を行う。また、道徳的価値内容が偏らないように配慮しながら、日々の暮らしの中での実践意欲を高める指導の工夫を行う。</li> <li>学校行事や学年・学級の活動などで、児童の工夫が実際に生かせるような柔軟な対応や環境整備を行い、児童の実践意欲を高める。</li> </ul>					

## 教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙力をつけ、文章を正しく理解したり、表現したいことに合った適切な言葉を使用したりできる力を育てる必要がある。</li> <li>・学習すること、表現すること、理解することが不明確で、自信をもって活動しきれず実力を発揮し切れない児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書をはじめとする読書指導を継続的に行うことで、長文への抵抗感をなくし、読解力を高める。</li> <li>・辞書の積極的な活用や反復練習等で、語彙力を高め、文中での意味を適切に捉え、正しい文章理解につなげる。</li> <li>・伝えたいことを明確にして作文活動をさせる。</li> </ul>	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽の技能や知識に関しては個人差があるが、音楽活動に意欲的に取り組み、表現の喜びを味わうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりひとりの能力を大事にしながら、技能の個別指導を重視し、基礎基本を徹底させる。</li> <li>・鑑賞の活動をさらに充実させ、表現に生かす学習が展開できるようにする。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会事象を正しく理解するための指導法の工夫が必要である。</li> <li>・資料を正しく読み取り、適切に活用していく力を育てる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を暗記するのではなく、背景や必然性と関連づけて、当時の人物の状況を考えたり、写真や図表など視覚教材を併用しながら学習を進める。</li> <li>・学習課題を明確にし、調査目的を深く自覚して調査させる。資料を調査する時間を十分確保。</li> <li>・学習内容と実生活とのつながりを実感でき</li> </ul>	図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図工室の教材、教具の充実、整備が徹底されていない。</li> <li>・多くの児童が意欲的に取り組むが、困難な状況になるとあきらめてしまう児童がいる。</li> <li>・道具の正しい使い方や知識が定着していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材教具の整備の徹底と充実</li> <li>・児童の実態に応じた題材の工夫。児童の創意工夫を生かせる題材の設定。</li> <li>・道具についての知識理解を徹底させると共に、安全な使い方や大切に扱うことを指導する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の定着</li> <li>・抽象的に考える問題への苦手意識をなくす指導の工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な内容の定着に個人差が見られるので、個別の指導の充実を図る。また、少人数学習で、つまづきの早期発見と対処を行う。</li> <li>・抽象的な思考を助けるための図の活用など、自力解決のための具体的な方法を身につけさせる。</li> </ul>	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの児童が興味・関心を持ち、家庭科の授業を楽しみにしているが、学んだことを家庭生活に生かせる児童とそうでない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が興味を持ち、日常生活に生かす意欲につなげる学習内容を工夫する。</li> <li>・家庭と連携を図り、学んだことを実践する力を伸ばす。</li> </ul>
理科	<p>観察、実験に対して、多くの児童が興味関心を持って取り組むことができていた。観察・実験ノートのまとめなどがまだ不十分で記録を生かし切れていない。また、直接体験の不足により、実験・観察をふまえた科学的思考の部分が深まらない児童も少なくない。</p>	<p>実験・観察活動を今後も積極的に行う。子どもたちの疑問から授業を組み立てていく。また、様々な現象を身の回りの生活体験に結びつけていく。ノート指導により、科学的に思考する道筋を理解させる。</p>	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカーやバスケットボールなどの球技が得意な児童は一部いるが、全体的に柔軟性に乏しく、マット運動や鉄棒運動が苦手な児童が多い。基本の運動や体ほぐしの運動を多く取り入れる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の運動や体ほぐしの運動の充実とバランスよい運動の組み合わせを工夫する</li> <li>・基本的な器械運動の習熟と運動への興味・関心を育てる。</li> <li>・自分の体や健康に関心をもたせる指導をする。</li> </ul>
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の設定や研究の発表はできるようになり質も高まったが、資料の読み取りや情報収集に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットに頼りすぎず、図書室(館)の利用を促す。</li> <li>・集めた情報を精査し、本当に知りたい情報を活用したり、情報同士を比較したり、仲間分けするなどして、整理統合できる力を育てる。</li> </ul>
<p>その他(道徳・特別活動等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値内容が偏らないように配慮しながら、日々の暮らしの中での実践意欲を高める指導の工夫を行う。</li> <li>・学校行事や学年・学級の活動などで、児童の工夫が実際に生かせるような柔軟な対応や環境整備をおこない、児童の実践意欲を高める。</li> </ul>					